

12月

高社

ヤシロン
かなえよゆめ



小泉小学校だより
令和7年11月27日
(No.9)

「わたし、校長先生より大きな声でいさつできるよ！ 『おはようございます！！！』」

毎朝、子どもたちの登校を迎えるため、昇降口（階段前）に立っています。7時50分になると、子どもたちは元気に入ってきます。その元気に負けないよう、自分も（よく来たね！ 今日もいろいろあるだろうけれど、精いっぱい頑張れ！！）という思いを込めて、ハイタッチと、努めて明るく大きな声でいさつをしています。

そんな中、3年生の子が「わたし、校長先生より大きな声でいさつできるよ！」「おお、それはすごい！ やってみて！」「うん！『おはようございます！！！』」「わあ、すごい！！（拍手！）」その子は笑顔いっぱいでした。私も、心がとてもぽかぽかして、頑張ろう！と改めて思いました。子どもたちにパワーを送っているようで、実は「自分が力をもらっていた」のです。

そんなことを思いながら、最近、心に残った言葉を振り返ってみました。

★（朝の昇降口。立ち止まって、私の目を見ながら）「（大きく息を吸って）いつもわたしたちのために、おしごとかんばってくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。」（1年生）

★（朝の昇降口で）「おはようございます！（ハイタッチ）今日もおしごとがんばってください！」（1～4年生の子たち。今は10人ぐらいの子たちが言ってくれます）

★（20分休みの終わりごろ）「こうちょうせんせい、いま、いくつ？」「今？ 57歳だけど？」「（真剣な表情で）…ながいきしてね。」（笑涙）（1年生）

★（休み時間に、校長室にやってきて）「こうちょうせんせい、これあげる！」（ドクターイエローの切り絵）「おお！ もしかしてドクターイエロー？」「うん！ ドクターイエロー、だいすきなの。」（1年生。その子が着ていた服には、ドクターイエローのイラストが大きくプリントされていました）



★（加藤家のある朝。昨日の夕食はカレー。妻が息子に）「朝もカレーだけど、いい？」「いいよ～！それが楽しみで昨日寝たんだよ。」（大学1年生。ただいまカレー屋でバイト中）

★（授業参観の講演の終わりに）「（私たち保護者が意識して）先生方の余裕を生み出すようにすることが、まわりまわって、子どもたちに接する先生方の時間を増やし、それが子どもたちの幸せにつながるんだと思います。」（ヤシロン応援団長（PTA会長）さん）

日々いろいろなことが起こりますので、職員は保護者の皆さんにこまめに連絡をしています。トラブル等についても、丁寧に聞き取り、対応しています。それが仕事、ではありますが、本当に大変です。複雑な事柄も増えてきました。そんな中で、ヤシロン応援団長さんが言ってくださった言葉は、とても温かく、うれしいものでした。子どもたちのために、一緒になってやってくださるその気持ちが本当にありがたいです。

「心に残っている言葉」でいうと、もう一つありました。10月終わり、引率した修学旅行1日目の夜のこと。別室で班長・リーダー会が行われていた時、その会に参加していない子が、廊下で座っていた私のところにやってきて、たわいのない話をしていました。その中で、「校長先生は、なんで校長先生になったの？」と聞いたのです。なかなか鋭い質問だなと思いながら、「校長先生になるには、実は試験があってね…」と言いかけ、いやいやそんなことではないなと思い直し、「そうだなあ、一言でいえば、やっぱり『えがおかひかる』小泉小学校にしたいと思っているから、かな。校長先生になると、赴任した学校や、その学校の子どもたちにどんなふうになってほしいか考えて、それを先生たちやおうちの人たち、地域の方々と力を合わせて実現できるように動くことができるんだよ。そうしたいと思ったから、かな。」

相手に届くように、「口にする言葉」を大切にして、日々過ごなきゃなと思う今日この頃です。

日	曜	12月行事予定	下校時刻	日	曜	1月行事予定	下校時刻
1	月	■ALT来校 ■学校司書来校 (6年)一日校外学習(博物館明治村) 冬休み升升大晦日重点期間②(~12/7) 中部大生来校(学校ボランティア)	①~②14:10 ③~⑤15:00	1	木	元日	/
2	火	記名の日(上靴、傘) 中部大生来校(学校ボランティア) (3年)クラブ見学 (4~6年)第6時:クラブ⑨	①~②14:40 ③~⑥15:30	2	金	学校閉校日	/
3	水	■学校司書来校 ■S相来校	15:00	3	土		/
4	木	【特別日課(個人懇談会①)】4時間授業 (3年)わら打ち体験	13:50班別	4	日		/
5	金	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(個人懇談会②)】4時間授業 (3年)縄縛い体験(民生委員来校) 中部大生来校(学校ボランティア)	13:50班別	5	月		/
6	土			6	火	冬季休業日終了	
7	日			7	水	■学校司書来校 【特別日課(冬休み明け集会)】4時間授業 (全校)第1時:冬休み明け集会	13:50 班別
8	月	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(個人懇談会③)】4時間授業 朝活:全校集会(4年生合唱発表)	13:50班別	8	木	■ALT来校 ■SSW来校 記名の日(筆箱の中身) (6年)身体測定 (5・6年)第6時:委員会 通級個人懇談会(~1/14)	①~④14:40 ⑤~⑥15:30
9	火	■ALT来校 【特別日課(個人懇談会④)】4時間授業	13:50班別	9	金	■ALT来校 ■学校司書来校 (5年)身体測定 PTA本部役員会	①14:10 ②~③15:00 ④~⑥15:50
10	水	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(個人懇談会⑤)】4時間授業	13:50班別	10	土		
11	木	(4年)小学校音楽祭 午後参加	①~②14:40 ⑤~⑥15:30 ④~⑥16:00	11	日		/
12	金	■学校司書来校 (5年1・2組)一日校外学習①(ヤマザキマザック、TSC)	①14:10 ②~③15:00 ④~⑥15:50	12	月	成人の日	/
13	土	親子高社登山		13	火	○給食週間(~1/16) (3年)身体測定 (456年)第3時:スマホ・ケータイ安全教室 中部大生来校(学校ボランティア)6年	①~③14:40 ④~⑥15:30
14	日		/	14	水	■学校司書来校 ■S相来校 (4年)身体測定	15:00
15	月	■学校司書来校 (3年)第2時:消防のしごと(体育館)	①~②14:10 ③~⑥15:00	15	木	■SSW来校 【時間割変更 月曜日課掃除なし】 (2年)身体測定	①~②14:40 ③~⑥15:30
16	火	■ALT来校 (5年3・4組)一日校外学習②(ヤマザキマザック、TSC) (4年)第1~4時:高齢者体験① (6年)第3時:キャリア教育(オンライン) 中部大生来校(学校ボランティア)	①~③14:40 ④~⑥15:30	16	金	■ALT来校 ■学校司書来校(研修) (1年)身体測定	①14:10 ②~③15:00 ④~⑥15:50
17	水	■ALT来校 ■学校司書来校 (4年)第1~4時:高齢者体験② 運動遊びCP(56年) 中部大生来校(学校ボランティア)6年	15:00	17	土		/
18	木	■ALT来校 (56年)第6時:委員会 運動遊びCP(34年)	①~④14:40 ⑤~⑥15:30	18	日		/
19	金	■学校司書来校 【特別日課 6時間目カット】 (6年)第1・2時:薬物乱用防止教室	①14:10 ②~⑥ 15:00	19	月	■ALT来校 ■学校司書来校 ○図書祭(~1/30) 家族読書(~1/23) (ひ)身体測定	①~②14:10 ③~⑥15:00
20	土		/	20	火	■ALT来校	①~③14:40 ④~⑥15:30
21	日		/	21	水	■ALT来校 ■学校司書来校	15:00
22	月	■学校司書来校 運動遊びCP(12年) にこにこ挨拶運動 ※マイエプロン使用(~12/26)	①~②14:10 ③~⑥15:00	22	木	■SSW来校 にこにこ挨拶運動 (6年)セレクト給食①	①~②14:40 ③~⑥15:30
23	火	■SC来校 (4~6年)第6時:クラブ 運動遊びCP(予備日)	①~③14:40 ④~⑥15:30	23	金	■学校司書来校 (6年)セレクト給食②	①14:10 ②~③15:00 ④~⑥15:50
24	水	■学校司書来校 運動遊びCP(予備日)	15:00	24	土		/
25	木		①~②14:40 ③~⑥15:30	25	日		/
26	金	■学校司書来校 【特別日課(冬休み前集会)】4時間授業 (全校)第4時:冬休み前集会	13:50 班別	26	月	■学校司書来校 読み聞かせ(低)8:20-8:30	①~②14:10 ③~⑥15:00
27	土	冬季休業日開始		27	火	■ALT来校 ■SC来校 読み聞かせ(中)8:20-8:30 (5・6年)第6時:委員会	①~④14:40 ⑤~⑥15:30
28	日		/	28	水	■ALT来校 ■学校司書来校 読み聞かせ(高・ひ)8:20-8:30 昼休み:通学班長・副班長会	15:00
29	月	学校閉校日	/	29	木	■ALT来校 ■SSW来校	①~②14:40 ③~⑥15:30
30	火	学校閉校日	/	30	金	■学校司書来校 【特別日課(市教研③)】4時間授業 小学校入学説明会(9:00-11:30)	13:20 班別
31	水	大晦日	/	31	土	土と版画展	/

そうか、自分も、ちょっといいかも…②

親育ち4363たじみプラン事務局

「できなかった」という経験が、ぐるぐると撲り合わされた鎖に縛られて、その子は机に伏せつて、動く気力をなくしています。ならば、その歯車を逆回転させる、つまり、たとえ小さくとも「できた」という経験を積むことで、その鎖が緩むのではないかでしょうか。

とはいえ、これも決して簡単なことではありません。その歯車は、「自分はダメだ」という方向に回りやすくなっています。今このときも、力がかかる続けているからです。まずは回転が止まるよう、その歯車にそっと手を添えます。きっと私たちの手も痛みます。しかし、決して離さず、回らなくていいのだ、君は君でいいのだと念じます。次は、少しずつ、逆方向に力をかけます。今の自分をわかろうしてくれた、動いてみたら、なんとなく温かなものが返ってきたという感覚を、ゆっくりと、しかし強い決意で届けます。

「そうか、疲れているんだね。わかった。君の顔が上がるのをどれだけでも待っている」

「さっき一瞬顔を上げたね。ナイストライだ。でも、無理はしないでくれ。え? 馬鹿にしてる? 絶対にそれはない。君はあのとき、挑戦したんだよ。私は本気でそう思っている」

あの頃に帰ることができたら、きっとこんな声をかけると思います。(次号へ)

(教育推進課 家庭教育担当)